

おしえて！

感染症 さがみはら

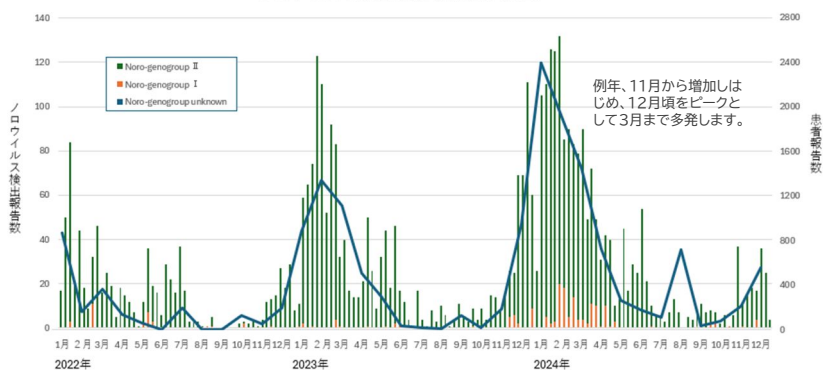
2025年10月



今月の注目疾患：感染性胃腸炎（ノロウイルス）

感染性胃腸炎とは、主にウイルスや細菌などの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。特に冬季はノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒の発生が多く報告されています。

ノロウイルス検出数と患者報告数（全国）



出典 国立感染症管理研究所 感染症発生動向調査報告書（ノロウイルス検出報告数）
厚生労働省HP 食中毒統計資料（患者報告数）より作成

ノロウイルス感染の症状

- 感染から発症まで24～48時間
- 主症状は吐き気、おう吐、発熱、腹痛、下痢など
- 小児や高齢者などは重症化や、おう吐物を気道に詰まらせることによる窒息にも注意

日常的なノロウイルス対策



正しい手洗い

- ・トイレやおむつ替えのあと
- ・調理施設に入る前
- ・料理の盛り付け前 等

ポイント

30秒以上かけて洗う
石鹸を使うと効果100倍
指先やシワ部分までしっかりと



定期的な消毒

手すり、ドアノブ、スイッチ
など人の手が触れる機会がある場所を消毒する

ポイント

環境消毒は 0.02%次亜塩素酸ナトリウム液を使用する
1日3回程度時間を決めて消毒

ノロウイルスの感染を広げないために

おう吐物の処理

1. 使い捨てのマスク、手袋、エプロンを着用し換気する
2. ペーパータオル等で静かにふき取り、0.1%次亜塩素酸ナトリウム液で消毒後水拭きをする
3. ふき取ったおう吐物や手袋などはビニール袋に入れ、0.1%次亜塩素酸ナトリウム液に浸して密封し破棄する

【0.1%消毒液】

水500mlに市販の塩素系消毒薬(5%)
キャップ2杯分

500 ml

【0.02%消毒液】

水2Lに市販の塩素系消毒薬(5%)
キャップ2杯分

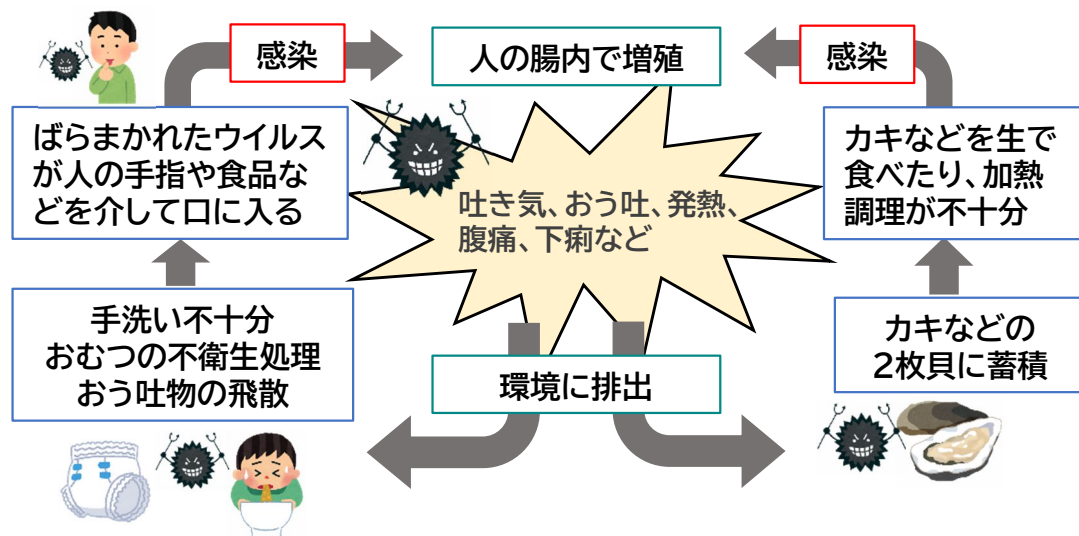
2 L



保健所医師からのコメント

ノロウイルスは、インフルエンザウイルスやコロナウイルスと異なり消毒用エタノールは効果がありません。ノロウイルスはおう吐物などに大量に含まれているため、説明にあるように次亜塩素酸ナトリウムを使用し、処理の手順を守って対処してください。わずかなウイルスでも汚染源になってしまいますので注意しましょう。

【ノロウイルスの感染サイクル】



★相模原市感染症情報センターでは毎週感染症に関する情報を掲載しています

相模原市 感染症情報センター



発行 相模原市衛生研究所